

高齢者実態調査（6）施設調査

現設問数 2 2 問 削除予定設問数 2 問 追加予定設問 3 問

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
1		問1	入所者の状況	入所(入院・入居)者の状況について、該当する項目に人数を記入してください。 <<特別養護老人ホームにおうかがいします。>> <<特別養護老人ホーム以外の施設におうかがいします。>>	施設調査_調査票P2~8 参照	施設の入所状況や入所申込状況等を把握します。	施設整備目標の設定の基礎数値、検証に活用します。					
2		問2	入所者の意思疎通の状況	入所(入院・入居)者の意思疎通の状況について、該当する項目に人数を記入してください。	施設調査_調査票P9 参照	施設の入所状況や入所申込状況等を把握します。	施設整備目標の設定の基礎数値、検証に活用します。					
3		問3	入所者とその家族や親族とのかかわりの程度	入所(入院・入居)者とその家族や親族とのかかわりの程度についておたずねします。該当する項目の人数を記入してください。(この設問ではショートステイによる入所者は含みません。)	1. 定期的に訪問する家族がいる()人 2. たまに訪問する家族がいる()人 3. 家族はいるが、まったく交流がない()人 4. 家族や親族はいない()人	入所者とその家族の関りを確認します。	計画作成にあたっての基礎資料とするため。家族介護の負担軽減などについて検討します。					
4		問4-1	入所者の日常的な金銭管理を行っている人	入所(入院・入居)者の日常的な金銭管理を行っている人について、該当する項目に人数を記入してください。	施設調査_調査票P9 参照	入所者の日常的な金銭管理を確認します。	計画作成にあたっての基礎資料とするため。地域支援事業について検討します。					

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
5		問4-2	金銭管理の方法	金銭管理について、あてはまるものすべてに○をつけてください。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 責任者及び補助者を選定し、印鑑と通帳を別々に保管している 2. 適切な管理が行われていることの確認が複数の者により常に行える体制で出納事務を行っている 3. 入所者との保管依頼書（契約書）や預り証、個人別出納台帳等、必要な書類を備えている 4. 預かり金の收支状況を、本人や家族に定期的に連絡している 5. 預かり金の管理状況を、施設長（病院長・管理者）が毎月定期的に点検している 	入所者の日常的な金銭管理を確認します。	計画作成にあたっての基礎資料とするため。地域支援事業について検討します。					
6		問5	介護サービスの状況	介護サービスなどについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設サービスプランを作成するときに、入所(入院・入居)者の希望を聴取している 2. 施設サービスプランを作成するときに、家族の希望を聴取している 3. 施設サービスプランの内容・効果を入所(入院・入居)者に説明している 4. 施設サービスプランを家族に説明している 5. 費用負担について、入所(入院・入居)者やその家族に説明している 6. 入所(入院・入居)者の見える所に、重要事項の説明文を掲示している 7. 退所(退院・退去)前後には、多職種でカンファレンスを行う等、退所(退院・退去)後の生活について相談支援を行っている 	介護サービスの説明などの確認	計画作成にあたっての基礎資料とするため。介護サービスの質の向上について検討します。					
7		問6-1	業務継続計画の策定状況	令和3年度から高齢者施設等に業務継続計画（BCP）の作成が義務付けられています。すでに業務継続計画が策定されていますか。（有料老人ホーム該当しないサービス付き高齢者向け住宅、生活支援ハウスは回答不要ですので、問7へ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. すでに策定できている 2. 現在策定中である 3. 今後策定予定である 	BCP作成状況を把握します。	今後の周知・支援についての検討に活用します。					

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
8		問6-2	業務継続計画の策定ができていない理由や課題	<p>「問6-1で「2. 現在策定中である」「3. 今後策定予定である」と答えた施設におたずねします。」策定できていない理由や課題となっていることについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自性・実効性のある計画を策定するために時間を要している 2. 策定のための知識が不足している 3. 経過措置期間中であるため 4. 業務継続計画について知らなかった 5. その他 	BCP作成にあたっての課題を把握します。	今後の周知・支援についての検討に活用します。					
9		問7	災害時の要援護者の受け入れ対応の有無	災害時の要援護者の受け入れ対応がありますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受け入れ対応がある 2. 受け入れ対応について、検討中である 3. 受け入れ対応はない 	災害時の要援護者受け入れを行う施設を把握します。	施設整備事業者公募選定の評価項目にしていることや、大規模修繕助成の適用項目に該当するかを確認します。					
10		問8-1	施設の感染予防・拡大防止のために必要な対策	<p>施設での新型コロナウイルス感染症感染予防・拡大防止対策についてお聞きします。新型コロナウイルスにより、多数の高齢者施設でクラスターが発生しました。施設での感染予防・拡大防止のために、どのような対策が必要とお考えですか。（優先すべきとお考えのものから最大3つまで○をつけてください）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員への研修 2. 利用者・ご家族等への情報提供 3. 簡易陰圧装置等の設備 4. 個室化等の施設の改修 5. 面会方法の検討 6. 感染した方の隔離 7. 感染した方の受け入れ先（病院・宿泊療養施設） 8. 職員へのPCR検査 9. 診察や点滴等の処置を行うスペースの確保 10. その他 	施設で求められる感染症対策方法の把握	施設が必要と思われる対策方法に基づいて、今後の施策を検討します。	施設での新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染予防・拡大防止対策についてお聞きします。施設での感染予防・拡大防止のために、どのような対策が必要とお考えですか。（優先すべきとお考えのものから最大3つまで○をつけてください）	新型コロナウイルス感染症は収束しているものの、季節性インフルエンザなどの感染症の拡大防止のため、施設が必要と思われる対策を確認する必要があるため。			
11		問8-2		<p>貴施設で同時期（1人目の陽性者が発生してから10日以内）に他の陽性者が発生したことがありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発生したことがある 2. 発生したことはない 	削除検討設問					コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。	
12		問8-3	施設の感染予防・拡大防止のために必要な対策	<p>「問8-2」1. 発生したことがある」とご回答いただいた施設におたずねします。」</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健所や相談窓口との連絡 2. 感染した方の受け入れ先（病院・宿泊療養施設） 3. 感染した方への往診等、医療の提供 4. 衛生用品（消毒液・個人防護具等）の確保 5. 感染した方の隔離 6. 感染した方に対するサービス提供体制の確保（職員確保） 7. その他 	削除検討設問				コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。		

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
13		問9	入所者へのサービスの向上のための取り組み	入所(入院・入居)者へのサービスの向上のための取り組みについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。	1. 第三者評価を取り入れている(評価方法を具体的に:) 2. 自己評価を行っている 3. 情報開示について法等の規定していること以外に独自で取り組んでいる 4. その他	サービス向上の取組を確認します。	計画作成にあたっての基礎資料とするため。介護サービスの質の向上について検討します。					
14		問10(1)	福祉人材の確保の状況と確保にかかる負担感	福祉人材の確保等の状況及びその取り組みについてお答えください。 (1)福祉人材の確保の状況および、確保にかかる負担感について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。	1. 確保できており、負担感はない 2. 確保できているが、負担感が多少ある 3. 確保できているが、負担感が大きい 4. 確保できていない	高齢者福祉施設等における人材確保の状況及び負担感についての設問です。福祉人材確保の現状の把握が可能となります。 老人福祉施設、介護保険施設等における人材確保の負担感を把握します。	他調査による離職率等の推移と併せて地域福祉基本計画に記載し、福祉人材確保の取り組みの進捗の指標とします。 老人福祉施設、介護保険施設の負担感を示す指標として必要です。					
15		問10(2)	人材確保・定着・育成に関する課題	人材確保・定着・育成に関して、課題であると感じるものすべてに○をつけてください。上記の課題の背景・要因や、貴施設での現状、その他の課題等についてご自由にお書きください。	施設調査_調査票P12 参照	老人福祉施設、介護保険施設等における人材確保等に関する課題を把握します。	課題に応じた研修メニューの構築に活用します。					
16		問10(3)	人材確保の取り組み状況	人材確保・定着・育成の取り組み状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。人材確保・定着・育成の取り組みについて、具体的な内容やご意見などをご自由にお書きください。	施設調査_調査票P13, 14 参照	老人福祉施設、介護保険施設の人材確保につなげる手段を把握します。	施設が効果があると判断した取組を把握し、負担感の有無の差による取組の違いを把握します。		選択肢の追加 14の次に「介護助手(ケアの周辺業務を担う職員)の採用」	生産性向上に関する取組みのなかで、ICT以外に介護助手等の導入が挙がっており、施設の導入状況を把握するために追加		
17		問10(4)	外国人介護人材の受け入れ状況	外国人介護人材の受け入れ状況をお答えください。それぞれの項目について、あてはまる番号に○をつけてください。	施設調査_調査票P14 参照	老人福祉施設、介護保険施設等の外国人介護人材の確保状況を把握します。	大阪市社会福祉研修・情報センターが行う外国人材に対する研修に活用します。					

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
18		問10(5)	外国人介護人材の受け入れの課題	外国人介護人材を受け入れるに当たり、何が課題だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。外国人介護人材の受け入れに係るその他の課題等についてご自由にお書きください。	1. 知識や技術等を習得するためのスキルアップ研修や資格取得の支援体制 2. 日本人職員との意思疎通に必要な日本語能力 3. 利用者等との意思疎通に必要な日本語能力 4. 環境の変化に伴う精神的不安への支援体制 5. 宗教や生活習慣への対応 6. 利用者や家族等からの理解 7. 受け入れに係るコスト 8. 受け入れ方法や活用方法に関する情報不足 9. 長期的に雇用することの難しさ	外国人材を雇用するにあたっての課題を把握します。	大阪市社会福祉研修・情報センターが行う外国人材に対する研修に活用します。					
19		問10(6)	市実施の人材確保・定着・育成に関する施策	以下の大阪府が実施する人材確保・定着・育成に関する施策について、知っている事業に○をつけてください。	1. みおつくし福祉・介護の仕事きらめき大賞 2. 社会福祉施設等従事者表彰事業 3. 小学生向けの福祉読本 4. 中学生向け福祉教育プログラム 5. アンスタントワーカー導入等による福祉・介護人材支援事業 6. 大阪市社会福祉研修・情報センターが行う事業(下記のア～エに該当するものに○) ア. 求人を行う管理者層への効果的な求人手法に関する研修 イ. 介護福祉士等の資格を持ちながら職に就いていない方への支援 ウ. 施設従事者の職場定着に向けたメンタルヘルス研修 エ. 施設従事者の資質向上に向けた研修(キャリアパスやスキルアップの研修)	本市が行う、福祉・介護職場の魅力やイメージアップに関する施策の認知度を把握します。	広報・周知活動の方法に活用します。		選択肢の修正 6のイの選択肢を削除し、以下項目を上げ、最後の選択肢を「同じ立場の人と交流や情報交換ができて『よこいと座談会』」に変更	事業の認知度把握と周知のため		
20		問10(7)	人材確保・定着・育成に関する施策	人材確保・定着・育成において、老人福祉施設、介護保険施設で、何が求められていると感じますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は2つまで)	1. 介護の職場のイメージアップ 2. 職員の負担軽減 3. 介護助手等の多様な人材によるチームケア 4. 職員の資質の向上 5. 地域との関わり合い 6. あてはまるものがない場合()	施設が感じるイメージを把握し、今後の施策の検討に活用します。	現在行っている本市事業の取組みに活用します。		選択肢の追加 5の次に「生産性向上に関する取組み」	人材育成、チームケアの向上などに資する「業務改善」を意識している施設の割合を把握するために追加		

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
21		問10(8)	人材確保・定着・育成に関する施策で市に求めること(自由記述)	人材確保・定着・育成に関する施策について大阪市に求めることや、その他の人材確保等に関するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。	(自由記載)	介護人材の定着に関する状況把握	計画作成にあたっての基礎資料とします。介護人材の確保について検討します。					
22		問11	手話・点字・外国語等ができる施設職員の有無	施設職員について、該当する職員がいる場合は()内に人数を記入し、いない場合は「7」に○をつけてください。(重複している場合は、該当する箇所すべてに含んでください。)	1. 手話ができる職員がいる()人 2. 点字が読める職員がいる()人 3. 韓国・朝鮮語が話せる職員がいる()人 4. 中国語が話せる職員がいる()人 5. 英語が話せる職員がいる()人 6. 上記以外の外国語が話せる職員がいる()人(外国語の種類) 7. 該当する職員はいない	削除検討設問					計画策定に特に必要ないため。	
23		問12	個人情報の管理状況	個人情報の管理について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	1. 管理規程等を定めている 2. 管理責任者を設置している 3. 職員研修を実施している 4. 情報が漏洩した場合の対処マニュアルを定めている 5. 特に何も行っていない 6. その他	削除検討設問					計画策定に特に必要ないため。	

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
24		問13	広報活動などの情報提供	広報活動など情報提供について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	<ol style="list-style-type: none"> パンフレットやリーフレットを作成している 広報誌を定期的に作成している ホームページを作成している 家族会を組織している 施設間で情報交換会を行っている 地域の介護サービス事業者間で情報交換会を行っている 介護サービス情報公表システムに会員登録している その他 	広報活動などの情報提供について確認します。	計画作成にあたっての基礎資料とします。介護サービスの質の向上や介護サービス情報の公表などについて検討します。					
25		問14	施設での認知症の人への対応における課題	施設での認知症の人への対応における課題について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	<ol style="list-style-type: none"> 職員の認知症についての理解や対応力が十分でない 認知症の人への対応力を高めるための研修等に職員を参加させたいが、研修の機会が少なく難しい 妄想・幻覚等の認知症の行動・心理症状のある人への対応が困難である 認知症を治療する医療機関について、情報が少ない がんや循環器疾患、大腿骨骨折などのほかの傷病(身体合併症)などがある認知症の人を受入れてくれる医療機関について、情報が少ない 認知症に関連した相談ができる機関が少ない 認知症の人の要介護度が上がったときに、受入れてくれる特養など介護施設が少ない 認知症高齢者の対応と比べ、若年性認知症の人への対応が異なるため難しい 認知症の人を受入れた際の介護報酬などが低い 特に課題はない その他 	施設における認知症の人への対応にかかる課題を問う設問。 認知症の人への対応に係る課題を把握することで、今後の施設従事者向けの研修企画等に活用することが可能となります。	施設従事者向け研修の研修内容を検討する際に用います。					
						施設での認知症ケアにかかる課題を把握します。	施設整備事業者公募選定あたっての評価項目に認知症ケアに関する取組を設けているが、適切か確認するために活用します。					

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
26		問15	高齢者虐待の防止等のために実施している対策	高齢者虐待の防止等のために実施している対策について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者虐待に関する職員研修の実施 2. 施設外で行われる高齢者虐待に関する研修への参加促進 3. 入所(入院・入居)者や家族からの苦情処理体制づくり 4. 身体拘束に関する運営基準に則った運用 5. 職員が虐待を発見した場合の通報窓口の周知 6. 労働環境の整備 7. その他 	<p>施設の虐待防止等の対策の状況を把握します。</p> <p>施設の虐待防止等の対策の状況を把握します。</p>	<p>施設整備事業者公募選定あたっての評価項目に虐待防止の取組を設けているが、適切か確認するために活用します。</p> <p>高齢者虐待防止に関する集団指導カリキュラム策定に活用します。</p>					
27		問16	高齢者虐待を受けたことを理由とした入所者の受け入れ有無	令和元年(2019年)4月1日以降に、高齢者虐待を受けたことを理由に入所(入院・入居)者を受け入れたことがありますか。(○はひとつ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある 2. ない 3. わからない 	虐待を理由とした入所受け入れの確認	施設整備事業者公募選定あたっての評価項目に虐待防止の取組を設けているが、適切か確認するために活用します。					
28		問17	地域福祉に貢献していること	地域福祉に貢献していることについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域福祉活動の推進役である区社会福祉協議会(区社会福祉施設連絡会事務局含む)と協働し、地域づくりや研修会などを行っている 2. 地域で行われる行事・イベントに参加し、地域住民と交流している(食糧り大会、地域まつり等) 3. 地域社会福祉協議会などが実施している地域住民による見守り支援活動に参加している(高齢者・障がい者等の友愛訪問等) 4. 地域の子ども連(小学校・中学校の生徒)の安全確保を図るため、地域の安全拠点や地域の巡回を行っている(子ども110番の家、防犯ウォーキング等) 5. 大阪府社会福祉協議会老人施設部会、大阪府社会福祉協議会が実施している総合生活相談援助事業に参加している(社会貢献事業) 6. 施設内へ地域住民を招待し、施設利用者や地域住民との交流活動を行っている(ふれあい喫茶等) 7. 施設職員の専門性を生かし、地域住民への勉強会を開催している(口腔ケア、要介護者の介助、感染症の知識等) 8. 地域のニーズに対して地域の拠点に出向き、地域活性化の支援を行っている(出前講座、介護相談、健康チェック等) 9. されいなまちづくりの取組みに積極的に参加している(施設周辺の清掃活動、定期的な自治会との公園清掃等) 10. 住民が主体となって行う健康づくりや介護予防の活動に対し、空きスペースや会議室など場所の提供を行っている 11. 地域密着に貢献している 12. その他 	<p>高齢者福祉施設等における地域貢献、地域活動支援についての設問です。地域貢献にかかる現状の把握が可能となります。</p>	<p>施設整備事業者公募選定の評価項目にしていることや、大規模修繕助成の適用項目に該当するかを確認します。</p> <p>包括的な支援体制の充実に向けて、「地域づくり」につながる施設の取組を把握し、地域福祉基本計画策定の参考資料とします。</p>					

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
29		問18(1)	地域他職種・他機関との連携状況	医療と介護の連携についてお聞きいたします。 貴施設は、地域他職種・他機関と、一般的に、どのくらい連携（連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等）できていると思いますか。（○はひとつ）	1. 連携できている 2. やや連携できている 3. あまり連携できていない 4. 連携できていない	この設問は地域における施設と多職種の連携を問う設問です。 連携度を把握するとともに多職種連携のための研修会等の対応策の検討が可能になります。	事業の進捗管理を行うための評価指標として活用します。					
30		問18(2)	在宅医療・介護連携の推進のために必要なこと	在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えられていることについてお聞きいたします。（必要性の高いものから順に3つまで○）	1. 関係機関のリスト 2. 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場 3. 連絡で困ったときの相談できる窓口 4. 各施設・職種の役割について理解を深める機会 5. 介護側のための医療知識の取得・向上の機会 6. 医療側のための介護知識の取得・向上の機会 7. 情報共有ツール（シート等）の統一 8. 在宅医療にかかる負担の軽減（主治医・副主治医制の導入など） 9. 在宅医療にかかる施設基準の緩和 10. 診療報酬・介護報酬の評価 11. 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発 12. その他 13. 特になし	この設問は今後の事業推進に必要な重点施策を検討するための設問です。 事業に関する周知・啓発方法や研修会等の対応策の検討が可能になります。	事業の進捗管理を行うための評価指標として活用します。		1.関係機関のリスト →1.関係機関のリスト・連絡先等の提供 10.診療報酬・介護報酬の評価 →10.診療報酬・介護報酬の評価（増額）	文言の訂正		
31		問19(1)	福祉避難所の協定締結の有無	災害時における福祉避難所の協定締結について、あてはまるもの番号に○をつけてください。 福祉避難所の協定締結について（○はひとつ）	1. 協定締結している 2. 協定締結していない	福祉避難所の協定締結状況を把握します。	施設整備事業者公募選定の評価項目にしていることや、大規模修繕助成の適用項目に該当するかを確認します。					

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
32		問19(2)	協定締結していない理由	協定締結していない理由について(あてはまるものすべてに○)	1. 市外居住の職員が多いため、災害時に対応できる職員が確保できない 2. 小規模施設では運営委員の確保が難しい 3. 介護支援者の確保が難しい 4. 備蓄物資の保管場所がない 5. 費用分担が不明確である 6. その他	協定締結にかかる課題を把握します。	施設整備事業者公募選定の評価項目にしていることや、大規模修繕助成の適用項目に該当するかを確認します。					
33		問19(3)	協定締結していない場合の災害時等の取り組み	協定締結していない場合、災害時等の取組について(あてはまるものすべてに○)	1. 地域住民に災害情報を提供できる 2. 備蓄物資の一部を提供できる 3. 広域避難所等へ被災住民を誘導できる 4. 地域での防災訓練に参加している 5. ボランティアを育成している 6. その他	協定締結していない場合の災害時等の取組状況について把握します。	施設整備事業者公募選定の評価項目にしていることや、大規模修繕助成の適用項目に該当するかを確認します。					
34		問20(1)	看取りに関する加算の届出有無	施設における「看取り」の状況についておうかがいします。 看取り介護加算、ターミナルケア加算、医療連携体制加算の届出をされていますか。	1. はい 2. いいえ	看取りに関する加算等の届出状況を把握します。	施設整備事業者公募選定あたっての評価項目に看取りに関する取組を設けているが、適切か確認するために活用します。					
35		問20(2)	昨年度で施設内の看取り有無	昨年度(R3.4~R4.3)において、施設内で「看取り」を行ったことがありますか。	1. ある()人 2. ない	施設における看取りの有無の状況を把握します。	施設整備事業者公募選定あたっての評価項目に看取りに関する取組を設けているが、適切か確認するために活用します。					
36		問20(3)	今後の看取りを行うことの課題	今後の「看取り」を行うにあたっての課題について、あてはまるものすべてに○をつけてください。	1. 施設の方針の明確化 2. 医療機関との連携 3. 居室等の環境整備 4. 職員の意識、技術等の向上 5. 入所者・家族の意識 6. 看取り対応ができる研修やOJT 7. その他	看取りを行うにあたっての課題を把握します。	施設整備事業者公募選定あたっての評価項目に看取りに関する取組を設けているが、適切か確認するために活用します。					

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
37		問21	医療的な処置等が必要な人の有無	昨年度中(R3.4～R4.3)に医療的な処置等が必要な方が入所されていたか。また、入所されていた場合は、医療的処置等の種類とその人数も記入してください。	施設調査_調査票P19 参照	施設での医療的な処置の実施状況を把握します。	施設整備にかかる方針や目標設定に活用します。	昨年度中(R6.4～R7.3)に医療的な処置等が必要な方が入所されていたか。また、入所されていた場合は、医療的処置等の種類とその人数も記入してください。		時点更新		
38		問22	入所申込者に対する入所選考に関する説明	入所申込者に対する入所選考に関する説明について、あてはまるものすべてに○をつけてください。	1. 入所選考委員会等の基準について説明している 2. おおよその入所申込者数を伝えている 3. おおよその順位を伝えている 4. 今後の申込者の状況等によっては順位が変わることを説明している 5. 要介護度や家族の状況等に変化があれば連絡するよう伝えている 6. 定期的に申込者に対し選考の状況の説明を行い、申込者の状況についても把握している 7. その他	特養における入所選考に関する説明状況を把握します。	入所選考の適正な運用についての検討に活用します。					
39	○	問23	施設等における生産性向上の取り組み	令和6年度介護報酬改定において新設された「生産性向上推進体制加算」の取得状況について、あてはまるものに○をつけてください。	1. 生産性向上推進体制加算(I)を取得 2. 生産性向上推進体制加算(II)を取得 3. 取得していない	施設等における生産性向上の取り組みの導入・浸透状況を確認します。	今後の施策検討等の参考とします。					
40	○	問24	施設等の創設・増設の検討状況	直近3年以内を目的に、施設等の創設・増設を検討されていますか。あてはまるものに○をつけてください	1. 創設(新築) 2. 増設(増床) 3. 検討していない	施設等の整備・修繕補助事業の実施にあたり、補助対象事業者の動向を把握します。	今後の整備・修繕補助事業の見直し検討等の参考とします。					

NO.	新規設問	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
41	○	問24-1	創設を行う施設等	<p>〈問24(1)で「1」とご回答いただいた施設におたずねします。〉 いずれの施設等を検討されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。</p>	<p>1. 特別養護老人ホーム(広域型) 2. 特別養護老人ホーム(地域密着型) 3. 介護老人保健施設 4. 介護医療院 5. 認知症対応型共同生活介護 6. 特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)【地域密着型含む】 7. 6以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅 8. 養護老人ホーム 9. 軽費老人ホーム 10. 生活支援ハウス 11. その他</p>	施設等の整備・修繕補助事業の実施にあたり、補助対象事業者の動向を把握します。	今後の整備・修繕補助事業の見直し検討等の参考とします。					
42	○	問24-2	創設・増設を検討していない理由	<p>〈問24(1)で「3」とご回答いただいた施設におたずねします。〉 検討していない理由について、最もあてはまるものに○をつけてください。</p>	<p>1. 利用ニーズ等から、創設・増設の必要性を感じない 2. 創設・増設を行いたいが、人材確保等が難しい 3. その他(意見欄にご記入願います)</p>	施設等の整備・修繕補助事業の実施にあたり、補助対象事業者の動向を把握します。	今後の整備・修繕補助事業の見直し検討等の参考とします。					
43	○	問25	施設等の改築・改修の検討状況	<p>直近3年以内を目的に施設等の改築や大規模な改修を検討されていますか。あてはまるものに○をつけてください。</p>	<p>1. 改築(建替え) 2. 改修(大規模修繕) 3. 検討していない</p>	施設等の整備・修繕補助事業の実施にあたり、補助対象事業者の動向を把握します。	今後の整備・修繕補助事業の見直し検討等の参考とします。					
44	○	問25-1	改築・改修を検討していない理由	<p>〈問25(1)で「3」とご回答いただいた施設におたずねします。〉 検討していない理由について、最もあてはまるものに○をつけてください。</p>	<p>1. 施設・設備が新しく、改築・改修の必要がない 2. 改築・改修を行いたいが、資金面で厳しい 3. その他(意見欄にご記入願います)</p>	施設等の整備・修繕補助事業の実施にあたり、補助対象事業者の動向を把握します。	今後の整備・修繕補助事業の見直し検討等の参考とします。					
45			意見・要望等(自由記入欄)	<p>介護保険制度についてのご意見・ご要望などを具体的に、次の欄に記入してください。</p>	(自由記載)	介護保険制度についての意見等を聴取します。	今後の計画策定、施策検討等の参考とします。					
46			意見・要望等(自由記入欄)	<p>大阪市の高齢者施策についてのご意見・ご要望などを、次の欄に記入してください。</p>	(自由記載)	本市高齢者施策についての意見等を聴取します。	今後の計画策定、施策検討等の参考とします。					